

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17028
課題名	内服のインシデント減少に向けた取り組み
研究期間	倫理委員会承認後 ～ 2017年11月30日
研究の対象	2015年3月～2016年12月までに6東病棟に入院された方のうち、内服薬を間違っ たご経験のある方
利用する試料・情報 の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報（詳細： ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（インシデントレポート） 内服薬を間違ってしまった経緯を記載するインシデントレポートの内容：原因、 対策、設定した時期の内服間違いの総数等
研究の意義、目的	<p>本研究では、内服間違いの原因を分析し、その改善策を実施することで、内服に関するインシデントが減少した経緯を実践報告としてまとめ、減少につながった要因を考察することを目的としています。</p> <p>治療や検査が予定される入院生活で、内服薬の間違いは、多くの病院で抱える問題です。本研究の成果は、多くの病院で活用可能と考えます。</p>
研究の方法	<p>看護師が記載したインシデントレポートを分析します。</p> <p>2015年4月～2016年3月までのレポートをもとに、改善策を実践しました。</p> <p>改善策を実施する前の2016年4～9月までの内服間違いの数と改善策を実施した後の2016年10月～12月の内服間違いの数を比較し、成果を分析します。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：6階東ナースステーション          電話：0166-69-3760 mail：watanabe@asahikawa-med.ac.jp          研究責任者：渡邊 充広</p>